

令和7年度ICT教育パイオニア校検証方針（抜粋）

1. 1人1台タブレットの活用検証

協働的な学びにつながる児童生徒間・児童生徒—教員間のやりとりの場面で、1人1台タブレットを積極的に活用した授業実践を行い、適宜振り返り及び改善を行ってください。

個別最適な学びを進め、探究的な学びを支える道具として、こどもたち自身がタブレットを自律的に活用するとともに、積極的に持ち帰り、家庭学習や学校での学びとの往来に生かせるよう指導を行ってください。

2. テーマ別研究実践

喫緊の教育課題への対応、今後の教育DXを見据えて、以下のテーマについて研究実践を行い、実践結果をとりまとめてください。

●小牧南小：遠隔教育

（遠隔合同授業、遠隔交流学习・行事、遠隔校外学習・出前授業、授業配信など）

●篠岡中：1人1台端末による探究的で深い学び

（iPadの活用、Apple純正アプリ活用、Microsoft365との互換対応など）

3. 先進事例等の調査・研究

1・2の検証に関連する内容、学習者用デジタル教科書・AIドリルの活用、教育ビッグデータの活用、教育ダッシュボードの構築など、授業改善及び今後のICT環境整備等につなげていくため、全国の先進事例を調査・研究し、情報共有を行ってください。

4. アドバイザー訪問（任意）

1・2・3の検証を踏まえ、1人1台タブレットをはじめとする各種ICT機器を活用した授業について、ICT教育分野に精通した有識者の視察を受け入れ、学校及び市内の取組に対する助言等をいただき、授業等の改善に努めてください。

※令和6年度までは「小牧小」、「大城小」、「小牧中」、「光ヶ丘中」の4校で検証を行っていましたが、本年度からは、「小牧南小」「篠岡中」の2校を新たにパイオニア校として選定し、これまでの成果を踏まえた上で、2年をかけて、発展的なテーマに取り組んでいただくこととします。